

第32回全国都市緑化あいちフェア 基本計画【概要版】



愛知県
公益財団法人 都市緑化機構

< 目次 >

1	あいちフェアのテーマ・基本方針など	1
2	展開に向けて	2
3	時間のデザイン	4
4	空間のデザイン	5
5	運営管理	7
6	観客誘致・広報宣伝	9
7	全県展開	11
8	事業計画	13

1 あいちフェアのテーマ・基本方針など

(1) テーマ

緑のある暮らしの明日を愛知から
【花を愛し、緑のチカラを知る 全国都市緑化 愛・知 フェア】

(2) 基本方針

既存ストックを活用するフェア

～愛知万博からの10年を振り返り、未来につなぐ～

みどりのチカラを体感するフェア

～みどりのチカラを知り、そのチカラにワクワク、ドキドキする～

協働をエンジンとするフェア

～県民が大活躍する舞台となる～

愛知県ならではのフェア

～アイチにとことんこだわる～

(3) 基本的事項

開催期間

- ・平成27年9月12日(土)～11月8日(日)
- ・58日間

会場

- ・メイン会場は愛・地球博記念公園(長久手市)とする。
- ・県内各地の公園や花の名所などをサテライト会場として位置付けるなど、全県展開を検討する。

入場方式

- ・メイン会場は無料を基本とする。

目標入場者数

- ・フェア全体で100万人以上を目標とする。(サテライト会場を含む)



2 展開に向けて

(1) ストーリーの設定

- ・フェアの具体的な展開を検討する上で、イメージを共有化するために、フェアの展開に向けてのストーリーを設定することにする。

あいち・花と緑の報告祭 ～モリゾー・キッコロを迎えて～

〔愛知万博から10年 私たちが「自然の叡智」の大切さを学び、取り組んできた成果をモリゾー・キッコロに報告することで、今の暮らしを見つめ直し、つぎの10年の取組みにつなげます〕

- ・平成18年6月にとりまとめられた「愛・地球博 基本理念の継承と発展に向けて」に「繰り返し伝える」ことの大切さをうたっている。
- ・「自然の叡智」の大切さを学んだ私たちは、これを忘れることなく将来につなげていくため、「あいちの花や緑」に囲まれた中で、この10年の成果と未来への希望をモリゾー・キッコロに報告する機会としてこのフェアを捉えることとする。

愛知万博で学んだ「自然の叡智」を継承するフェア

- ・「自然の叡智」をテーマに開催された2005年の愛知万博、およそ3万人のボランティア、30のNPO、235の市民グループの支えにより成功に導かれ、会場を訪れた2,200万人、さらに多くの地球市民は、「自然の叡智」の言葉に出会い、「モリゾー・キッコロ」に出会い、多くを体感し、自分たちにも地球的課題の解決のためにできることがあることに気づき、「愛知ターゲット」、「名古屋議定書」などが採択されたCOOP10の開催など環境の取組みを続けてきた。これまでの取組みを振り返りながら、「自然の叡智」を繰り返し伝えるフェアとする。

「緑はつなぎ手」としてみんなでつくりあげるフェア

- ・愛知万博を多くの方々の力により成功に導いた愛知だからこそ、「緑はつなぎ手」とした参加の多様化、増大により、「みんなで成功させるフェア」の開催を目指す。

ものづくり県、愛知の素晴らしさを発信するフェア

- ・とりわけ工業県にみられる本県は、他方、農業県でもあり、なかでも、花き産業は50年連続日本一を続けており日本を代表する一大生産地であることや本県から生まれる様々な「愛知県産」にこだわるなど、「いき・ものづくり」をキーワードに「あいちの魅力」をより広く発信するフェアとする。

* 「いき・ものづくり」とは、農業「いき」+工業「ものづくり」=いき・ものづくりを示す。

(2) 幅広い県民協働

「緑はつなぎ手」として、協働する人々の多様化・拡大

- ・全国都市緑化フェアは、社会の熟成とニーズの変化に伴い、その役割や課題が時代とともに変化してきている。
- ・今後のフェアには、多様な主体の参加、事業成果の継続性等の観点からの展開が必要となってきたと考え、あいちフェアでは「緑はつなぎ手」として、さらに協働する人々の多様化・拡大とともにフェア後にも成果が続く取り組みを図る。

異分野交流の推進

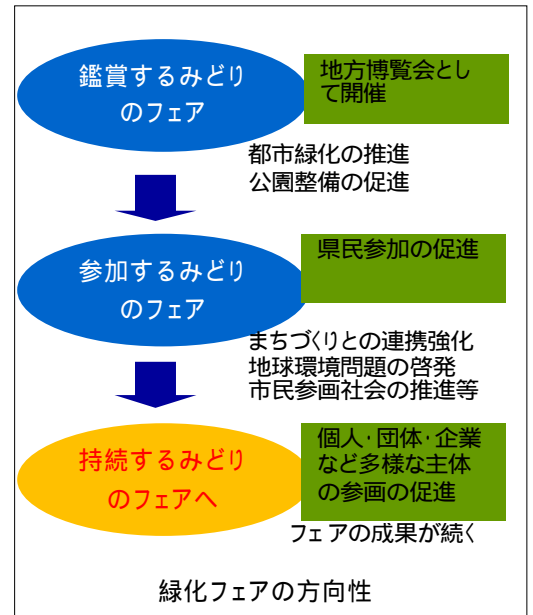
- ・自動車と花、緑化企業とアーティストなど、異分野交流による協働・参加を促す。

多様な協働スタイルの提供

- ・協働しやすい仕組みとして、会場づくり、行催事、会場運営、観客誘致など、多様な協働・参加の場を提供する。
- ・協働参加する段階についても、企画、計画、実践など各段階のステージを提供し、協働に参加しやすいスタイルを提供する。

協働しやすい環境づくり

- ・展示や行催事開催にあたって、より大きな魅力を発信するために、協働する団体の参画が得られやすい環境づくりを検討する。



(3) フェアの展開

- ・今回のフェアは、「協働」を積極的に推進していくフェアとすることから、ここで定める「時間のデザイン」や「空間のデザイン」は、「協働」について調整等をする上の基本的な考え方を示したものであり、協働の内容の熟度に合わせて計画内容の調整等を適宜図るものである。
- ・フェアにおいては、愛知の花を原則使用し、「花の王国あいち」を広くPRする。

時間のデザイン ～催事・展示の展開～

- ・季節の移ろいととも、愛知万博や COP10などの記念日や祝祭日を踏まえ、会期を4つのテーマに区分する。
- ・各期間テーマに応じた展示や行催事等を行う。

空間のデザイン ～会場の展開～

- ・ループ状の既存園路沿いに展示エリアを配置し、回遊性を持たせた会場とする。
- ・愛・地球博記念館や花の広場など、万博や花に関係する既存施設を活用する。
- ・各エリアでは、愛知の風土や自然環境を感じさせる演出などを考慮する。

3 時間のデザイン

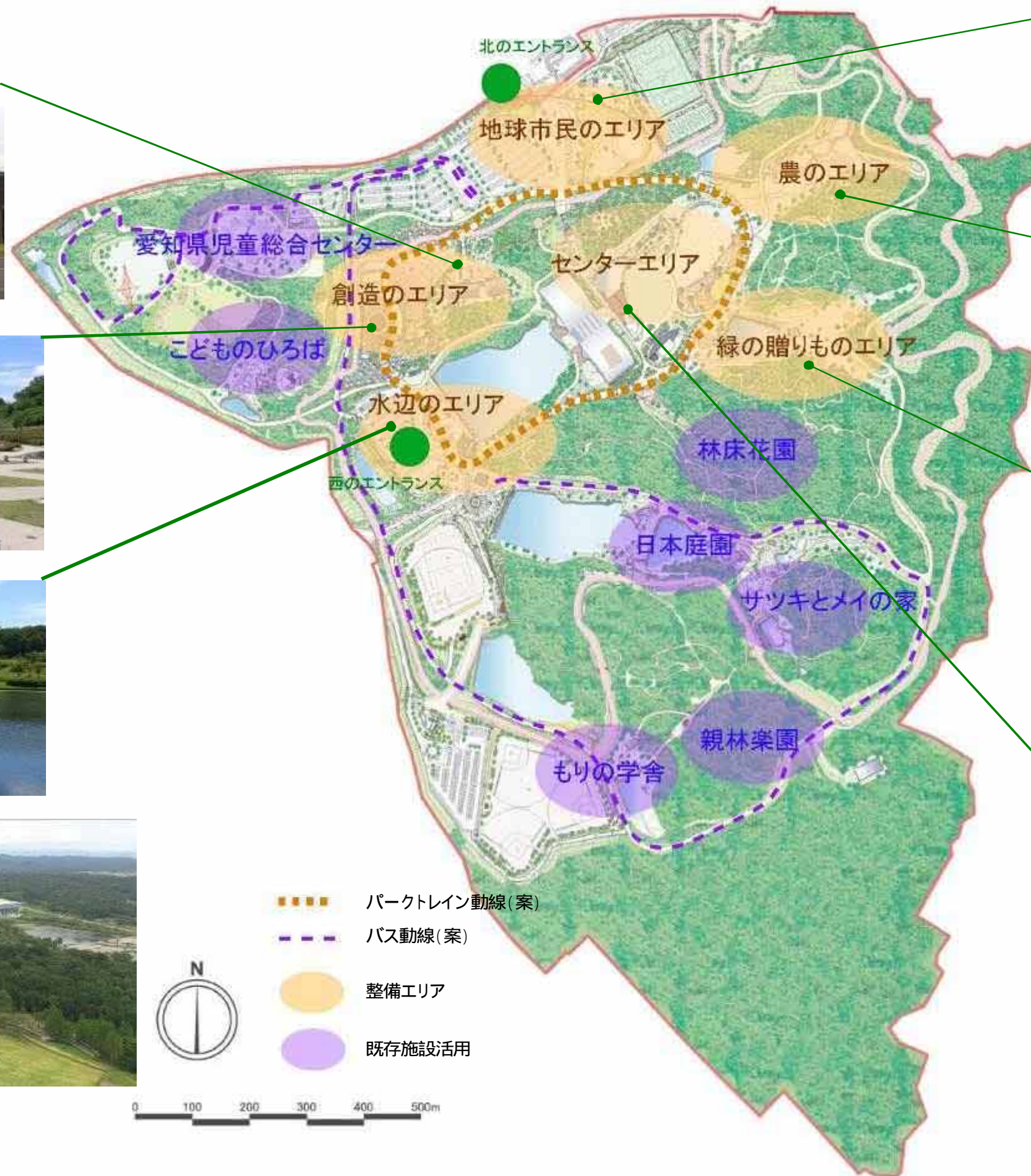
		あいち・花と緑の報告祭 ～モリゾー・キッコロを迎えて～			
期間		第1楽章 “想” ～夏(万博)の思い出～	第2楽章 “活” ～秋のはじまり～	第3楽章 “生” ～深まる秋～	第4楽章 “歓” ～未来への旅立ち～
		愛知万博の思い出と未来への想いを再確認する章	初秋に心を躍らせ様々な活動を展開する章	深まる秋に、自然の恵みに感謝し生きている実感に喜ぶ章	みんなで歡喜することで、フェアの思い出を刻み、次の10年に向けた出発点となる最終章
		9/12(土)～9/27(日) (16日間) (9/19(土)～9/23(水)のシルバーウィークを含む) <参考> ・愛・地球博最終日:平成17年9月25日	9/28(月)～10/12(月) (15日間) (10/12(月)の体育の日)	10/13(火)～11/1(日) (20日間) <参考> COP10 最終日:平成22年10月29日	11/2(月)～11/8(日) (7日間) (11/3(火)文化の日含む)
期間中のテーマ		・愛知万博の思い出 ・愛知万博後の環境配慮や緑化技術 ・世界との交流	・県民の生き活きとした活動・活躍 (スポーツ・健康づくりなど) ・愛知の産業、未来への技術	・生物多様性(自然の恵み) ・自然の恵みへの畏敬の念から生まれた愛知の 伝統文化・芸術	・緑化フェアファイナル ・「みんな」が参加するお祭り
会場づくり	展示イメージ	・愛知万博後の取組み ・バイオミクリーなど	・環境技術の進歩など	・生物多様性など	・芸術と科学など
	花のイメージ	フェアのはじまりを彩る花壇			
行催事(メインイベント例)		・モリゾー・キッコロと子供たちの交流会など (第1楽章のメインイベントのみ夜間までの開催も今後検討)  	・自然とふれあう運動会など  	・あいちの花の展覧 秋の味覚満載食事会など  	・お花の馬車のパレードなど  
フェア期間を通して		フェア開催期間を通してのテーマ(例:「環境」、「交流」、「復興」等)に即した催し等を検討する。			

万博

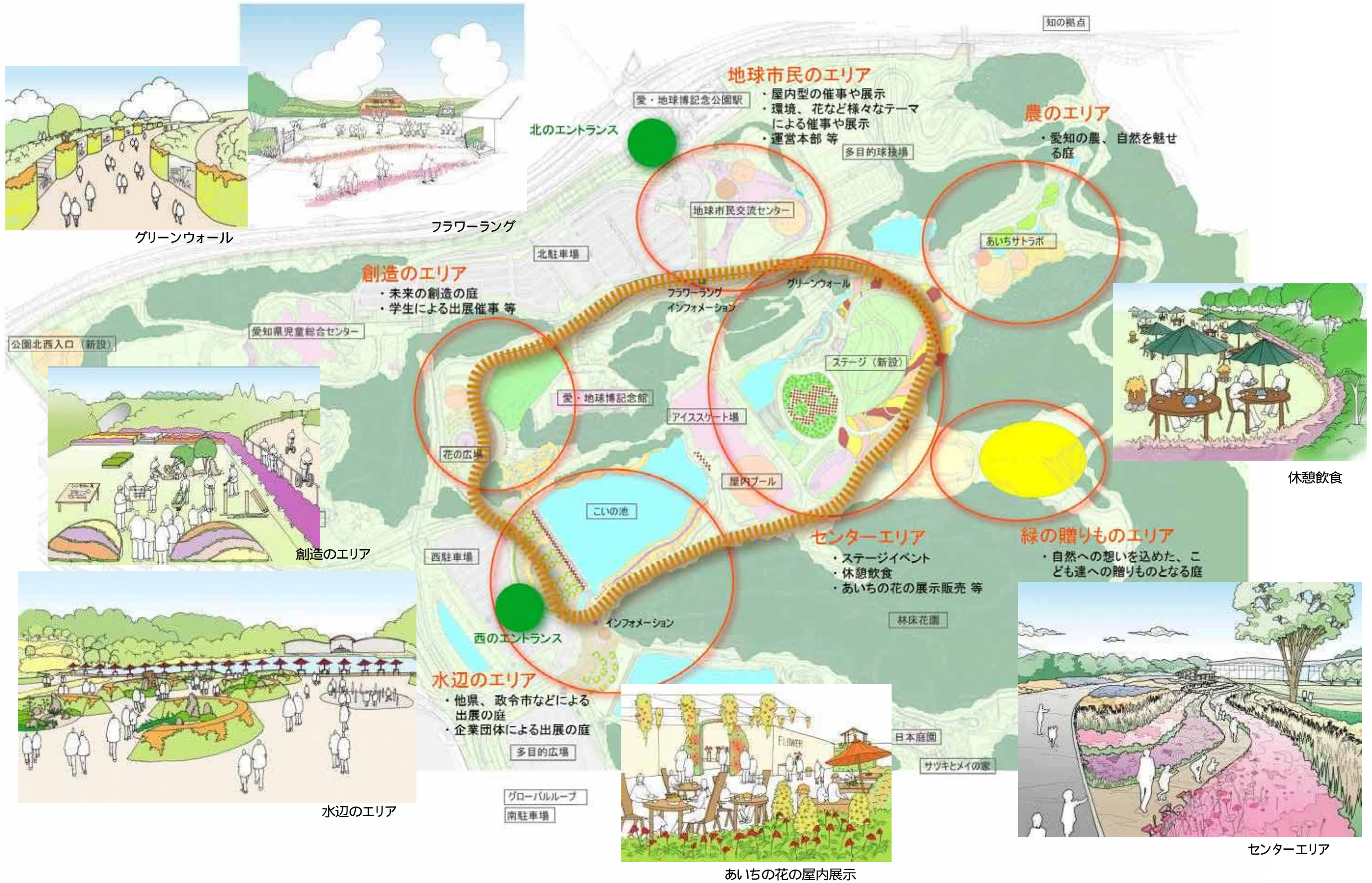
花

4 空間のデザイン

(1) ゾーニング



(2) 整備計画図



5 運営管理

(1) 園外交通

リニモの利用促進

- ・「公共交通機関の利用促進」などの広報活動に努める。
- ・また、「フェア会場での特典」や「あいちの花を使ったプレゼント」などによりリニモの利用促進を図ることを検討する。



臨時駐車場の整備、シャトルバスの運行

- ・既設駐車場だけでは対応しきれない自動車に対し、臨時駐車場の設置などを検討する。
- ・また、必要に応じてシャトルバスの運行も併せて検討する。



(2) 園内交通

南北をつなぐ園内バスの運行

- ・フェア会場の広域的な移動を補完するため、公園南北を連結する園内バスの運行を検討する。



会場の利便性、回遊性を高めるパークトレインなどの運行

- ・フェア会場の利便性と、主要動線の回遊性を高めるために、パークトレインの運行を検討する。
- ・ベロタクシーや、環境型ビークルによるガイドツアーなど、環境に配慮した乗り物の導入を検討する。



(3) 会場サービス、会場管理

既存の運営体制と連携したスマートな会場サービス、会場管理

- ・現在、指定管理者により実施されている公園の管理運営体制と連携し、効率的・効果的な会場サービス、会場管理を行う。
- ・先進的な環境配慮型のフェアであることを演出するため、環境型ビークルの使用など、来園者に見せることを意識した管理、サービスを展開する。



ボランティアガイドによる案内・解説機能の充実

- ・フェア会場の様々な工夫や各種展示の内容、花や緑の情報など、フェア会場を案内・解説するためのボランティアガイドなどの充実を図る。



(4) 営業参加

花や緑を楽しみながら飲食を楽しめる空間の提供

- ・会場計画と連携し、花や緑を楽しみながら飲食を楽しめる空間を提供する。



6 観客誘致・広報宣伝

- ・観客誘致エリアを幅広くとらえ、また、誘致のターゲットの多様化を図るなど、観客誘致方策を検討し、展開する。

【観客誘致エリア】：愛知県内及び近隣県、関西圏及び首都圏、友好提携地域

【誘致ターゲット】：花や緑に関心のある方々、学校、老人会、企業・NPO 等

プロモーションの展開

対象	PR 場所	展開イメージ
県内からの来場者	学校、老人会 NPO 法人など	<ul style="list-style-type: none"> ・花の種、チラシの配布 ・学校や老人会などへのキャラバン隊訪問 ・遠足など学校行事のフェアへの誘致 ・市町村広報誌を利用した情報発信
県外からの来場者	観光地、交通施設など	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地へのキャラバン隊の訪問 ・広告ポスターなどの掲載依頼 ・旅行商品としての販売依頼（観光事業者）
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・TV やラジオ、情報誌での活動情報発信 ・デパートなど集客施設へのキャラバン隊訪問



広報宣伝の展開

- ・マスコミが着目する話題性のある行催事の実施を検討する。
- ・「花や緑のチカラ」を活用した PR 戦略により、花や緑の良さを感じてもらえる広報の展開を検討する。
- ・花や緑の効果が体感できる工夫、愛知全体の緑づくりの気運が高まるような戦略的広報を検討する。

ビジュアル・アイデンティティ(視覚的広報ツール)

- ・公式キャラクター「モリゾー・キッコロ」を、「緑化特別大使」として任命する。
- ・愛称の公募、シンボルマーク・ロゴマークを作成・活用する。



キャンペーン活動

- ・キャンペーンキャラバン隊(モリゾー・キッコロ、あいち戦国姫隊等)を結成し、県内外の各地で PR を行う。



パブリシティ(情報発信)

- ・「あいちフェア広報局(例)」の設置を検討する。
- ・高校生・大学生によるあいちフェア取材チームの結成を検討する。
- ・フェアニュースレター等の発行を検討する。



WEB・SNS 活用事業

- ・公式ホームページ制作、SNS(ツイッター、Facebook 等)の活用を図る。
- ・あいちフェア取材チームによる HP、SNS(ツイッター、Facebook 等)への投稿等を検討する。

7 全県展開

あいちフェアの来場者に、県内各地の公園や花の名所などをご案内することや、愛知の緑豊かなまちづくりにつなげていくため、メイン会場(愛・地球博記念公園)とともにフェアの全県展開を図る。

(1) 基本方針

- ・基本構想にある「サテライト会場」「協賛会場」については、市町村、民間と施設の設置管理者により整理されていたが、それらを統括して「サテライト会場」とする。
- ・これとは別に、フェア期間中に限らず県民の方々にフェアを身近に体感していただくことを目的に、「ふれあい拠点」を設ける。
- ・メイン会場のほか、市町村や企業等と連携を図り、全県展開を推進する。

サテライト会場の展開

- ・あいちフェアの期間中、公園、観光拠点や花や緑の名所等を、メイン会場である愛・地球博記念公園の来場者が訪ね歩くことができるよう検討をする。

【公共(市町村等)】:公園等

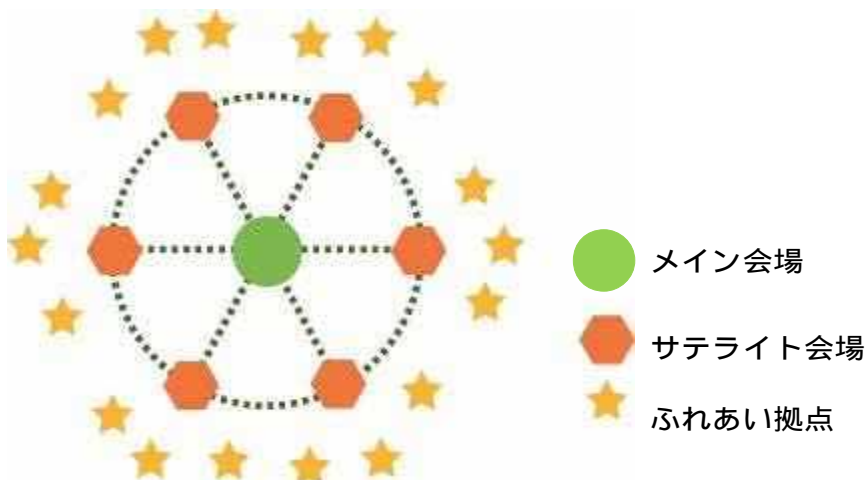
【民間(企業・県民・NPO等)】:民間観光拠点、花の名所等

ふれあい拠点の展開

- ・あいちフェアの準備～終了までの間で、県内各地で実施されている花や緑の活動の場の中から、地域を代表するものなどを「ふれあい拠点」として位置付ける。
- ・「ふれあい拠点」にはモリゾー、キッコロが訪れるなど、フェアを身近に体感できるよう検討をする。

【公共(市町村等)】:庁舎、学校(保育園など)、駅前、川沿い、道路沿い等

【民間(企業・県民・NPO等)】:ホテルやカフェ、商店街の多くの人が目にする場所等



サテライト会場、ふれあい拠点のイメージ

(2) サテライト会場の連携

- ・メイン会場とサテライト会場の相乗的な効果を高めるために、各会場の連携のための仕組みづくりを行う。

【展開例】

「あいち緑・花(りょっか)マップ(仮称)」の作成

- ・サテライト会場を来場者にわかりやすく紹介するために、地域別にマップなどの作成を検討する。

[あいち緑・花マップ(仮称)のイメージ]



名称	見どころ	9月	10月	11月
公園	メイン花壇ほか		コスモス	
		コリウス・アンゲロニアなど		
公園	珍しいランの展示		テンファレ・パンダなど(アトリウム内)	
			サルビアなど(庭園)	
公園	大規模ガーデンほか	サルビア・マリゴールドなど		
			ダイヤモンドリリー・キクなど	
施設	ヒマワリ、松葉ギク、ポーチュラカ	ヒマワリ・松葉ギク・ポーチュラカ		
公園	フラワーガーデン		マリゴールド・コスモスなど	
				ビオラ・ハボタンなど
公園	紅葉			モシ
・	・			
・	・			
・	・			
・	・			

8 事業計画

事業スケジュール

項目	内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
基本事項	実行委員会	★ 設立	★ 総会	★ 総会 ★ あいちフェア ★ 解散	
	主要イベント		★ 1年前	★ 100日前 イベント ★ 内覧会 ★ 緑化祭	
	基本的流れ	協働推進 実施計画	協働推進(募集・選定・調整・運営など)		協働の継続
協働推進	協働団体	協働主体による企画・設計施工・運営(民間・団体・学校・県内市町村・他県及び政令市など)			
	ボランティア		ボランティアの募集・育成・活動		
行催事	基本的流れ	行催事 実施計画	行催事(調整・運営など)		
	イベントプログラム		イベントプログラム作成・実施		
会場整備	基本的流れ	基本設計	会場整備(実施設計・施工管理・工事など)		
	会場整備		基盤整備・施設整備・植栽工事		
	屋内展示		屋内展示実施計画	屋内展示制作・運営	
	植物調達		植物生産・生産調整	植物納品	
運営管理	基本的流れ	運営管理 実施計画	会場運営管理・交通輸送(調整・運営など)		
	会場運営管理		関係者調整	運営管理	
	交通輸送		関係者調整	運営管理	
観客誘致 広報宣伝	基本的流れ	誘致・広報 実施計画	観客誘致・広報宣伝(調整・活動など)		
	愛称・シンボルマーク など	募集・選定			
	キャラバン活動		キャラバン活動		
	ホームページ		SNS活用による広報活動		